

下関港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども下関港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、下関港の港湾・海岸整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



耐震強化岸壁の整備

下関港本港地区においては、現在、国際フェリーと国際ROROの国際定期航路が就航しており、下関のコンテナ貨物量の8割以上を占めています。この国際RORO船が利用する岸壁(水深10m)は築造後50年(改良後18年)が経過し、老朽化が進んでいることから、老朽化対策と併せ耐震強化岸壁として整備を行っていきます。



下関港海岸の整備

下関港海岸では、背後に幹線道路や住宅地等市街地が広がるとともに企業、事業所が臨海部に集積していますが、台風の来襲に伴う高潮・高波によって家屋の浸水、国道の通行止、護岸倒壊などが発生しています。このような被害から背後地域住民等の生命と財産を守るため、護岸の改良などを行っております。



平成11年台風18号による護岸などの倒壊

整備後



現場見学会・出前講座の実施

下関港湾事務所では、職員が学校や地域のイベントなどに出向き、当事務所が行っている事業や港・海岸に関することなどについて紹介させていただく「出前講座」や実際の工事現場を見学していただく「現場見学会」を開催しています。出前講座は無料ですので、気兼ねなくお問い合わせください！



現場体験の様子



出前講座の様子

【目標】 2022年度:3回/年 → 2030年度:5回/年